

## 令和5年度 第1回日本遺産「桑都物語」推進協議会 総会

令和5年6月30日（金）13:30～14:30 議会棟全員協議会室

出席人数 23名

※特記のない限り、本会の名称は「協議会」と表記する。

### 開会前挨拶

#### 【事務局】

- ・本日、事務局長の秋山が欠席のため文化財課長の叶が進行を務めさせていただく。
- ・協議会名誉会長、石森市長より挨拶申し上げる。

#### 【名誉会長】

- ・御多用の中、令和5年度第1回協議会総会に御出席いただき感謝する。
- ・新型コロナウイルス感染症は、ようやく5月連休明けに5類へと引き下げられ、まちなかでのイベントも開催されるようになってきた。
- ・来月から各地域での夏祭りも開催されるようになる。その後八王子まつりへとつながっていく。4年ぶりの八王子まつり開催に、大変多くの市民が期待を寄せている。
- ・11月のフェスティバル開催に向けて、準備を着々と進めているところ。
- ・全国から訪れる多くの方に対し、八王子の魅力を発信する絶好の機会といえる。
- ・フェスティバルが大成功となるよう委員の皆様にお力添えをお願いする。

### 人事等紹介

#### 【事務局】

- ・会議資料確認
- ・人事異動に伴う委員の変更について、京王電鉄株式会社の長谷川委員、多摩信用金庫の石原委員、八王子市産業振興部長の山岸委員、学校教育部長の今川委員が就任した。各委員より、挨拶願う。

#### 【事務局】

- ・事務局人事異動の紹介

### 総会開会

#### 【事務局】

- ・総会の議事進行を会長をお願いする。

【会長】

- ・お忙しい中、参集いただき感謝する。

総会の成立について

【会長】

- ・委員の出席について、八王子市青年会議所の佐藤委員、八王子市市民活動推進部の小山委員が欠席だが、各々代理出席となり、現時点で 23 名の出席。過半数となるので、本会は有効に成立する。
- ・本会議は記録のため録音し、無記名の要点記録を後日公表することを御了承願う。

**議事**

【会長】

- ・次第のとおり本会では議案 5 件、協議事項 1 件、報告事項 3 件。
- ・予算決算に関する議案のほか、本年 11 月の日本遺産フェスティバル開催に関する議題がある。

第 1 号議案 令和 4 年度事業実績について

第 2 号議案 令和 4 年度収支決算について

【会長】

- ・第 1 号議案「令和 4 年度事業実績について」及び第 2 号議案「令和 4 年度収支決算について」、相互に関連しているため一括して事務局から説明願う。

【事務局】

(第 1 号議案 令和 4 年度事業実績について)

- ・文化庁の補助金を活用した事業については、人材育成をはじめ、普及啓発、調査研究、活用整備、情報コンテンツ作成事業に区分をしており、国の補助を充当しないものを自主事業として実施した。
- ・コロナ禍ではあったが、概ね計画どおりに事業を完了することができた。
- ・主な事業について、補足で説明をさせていただく。

(補足説明)

- ・5 月 31 日、令和 4 年度第 1 回総会を実施した。
- ・10 月 29～30 日、文化庁主催の日本遺産フェスティバル in 関門へ参加した。PR ブースにおける展示のほか、公開講座において「日本遺産『桑都物語』の担い手育成の現状とこれから」をテーマとした講演を行った。
- ・1 月 31 日、令和 4 年度第 2 回総会を実施した。
- ・2 月 11～13 日、JR 有楽町駅前で開催された、文化庁主催の「日本遺産の日」イベントに

PR ブースを出展した。

・人材育成、普及啓発事業のうち、主なものを報告する。

① 人材育成事業

・日本遺産を PR できる人材やボランティアガイドの育成を図った。滝山地区及びその周辺地区、高尾山薬王院、八王子城跡及びその周辺地区で計 3 回実施し、各回 30 名程度の参加があった。

② 普及啓発事業（日本遺産 PR 部）

・日本遺産 PR 部・武者所による普及啓発活動を展開した。  
まきびし作成体験ワークショップを開催したほか、各種イベントを通じて日本遺産や八王子の歴史文化の魅力を発信し、普及啓発を図った。

③ 普及啓発事業（桑都・八王子の花街の魅力向上）

・八王子の花街の魅力を向上させることを目的に、構成文化財「八王子芸妓」の活動展示を通じて日本遺産や八王子の歴史文化の普及啓発を図った。

④ 普及啓発事業（八王子「桑都物語」日本遺産ウォーク）

・「八王子織物」や「高尾山」にゆかりのある古道を歩き、日本遺産認定ストーリーや八王子の魅力について普及啓発を図った。

⑤ 普及啓発事業（日本遺産フェスティバル普及啓発事業企画運営）

・「織物のまち 桑都・八王子」の魅力体験・体感イベントを企画し開催した。

⑥ 普及啓発事業（「桑都」の魅力を発信するイベントの開催）

・各種イベント（わくわくフェア、八王子いちよう祭り、千百年を紡ぐ桑都・八王子織物展）において、構成文化財（木遣、八王子車人形等）の実演を通じて、日本遺産や構成文化財の普及啓発を図った。

（第 2 号議案 令和 4 年度収支決算について）

・決算額は、収入・支出とも、76,186,603 円だが、市の貸付金を借りて返す部分があるため、実質的な収支は 4,900 万円程度となる。

・財源は、国の補助金と市の負担金とで構成されている。執行率は 97 パーセントとなっており、余剰金が出たが、それぞれ国・市に返還した。なお、繰越金はない。

・協議会による物販の収支を報告する。缶バッジを作成し売り上げることなどによって協議会としての自主財源を確保した。売り上げ等については、補助金会計とは別に会計処理を行い、利益分として、295,087 円を今年度に繰り越している。

（事務局説明以上）

第 3 号議案 令和 4 年度監査報告について

【会長】

・会計監査について監事から報告願う。

【監事・委員】

- ・ 5月25日に監事2名にて、令和4年度協議会収支決算の監査を実施。
- ・ 監査の結果、決算書及び収支差引簿、関係書類についていずれも適正に執行されていたことを確認したことを報告する。

第1～3号議案 審議・議決

質疑

【委員】

- ・ 収支決算に計上されている「講師謝礼」について、14,000円、19,000円と回ごとの金額に違いがあるのはなぜか。

【事務局】

- ・ 講師謝礼について、収入の部の講師謝礼は、市職員が大学で講演を行った際に、大学から頂く講師謝礼のため、大学の規定に基づき金額に差異が生じている。

(その他質疑・異議なしにつき第1～3号議案承認)

第4号議案 令和5年度事業計画(案)について

第5号議案 令和5年度収支予算(案)について

【会長】

- ・ 第4号議案「令和5年度事業計画(案)について」及び第5号議案「令和5年度収支予算(案)について」、相互に関連しているため一括して事務局から説明願う。

【事務局】

(第4号議案 令和5年度事業計画(案)について)

- ・ 「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」開催のほか、情報コンテンツ作成事業等を計画として上げている。

(第5号議案 令和5年度収支予算(案)について)

- ・ 予算規模は、日本遺産フェスティバル開催経費の計上等により前年比630万円の増の5,208万円となっている。
- ・ なお、国庫補助事業は令和4年度までで終了となっており、主な歳入は市の負担金のみとなっている。

(事務局説明以上)

#### 第4、5号議案 審議・議決

(質疑・異議なしにつき承認)

##### 協議事項(1)「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」について

###### 【会長】

- ・協議事項(1)について事務局から説明願う。

###### 【事務局】

- ・日本遺産フェスティバルは、日本遺産認定を受けた団体等が関係省庁と連携し、日本全国に点在するストーリーを国内外に向けて積極的に情報発信することによる地域及び日本のブランド力の向上を目的として、認定団体等が一堂に会し、情報発信や普及啓発を行うために毎年開催している。主催は文化庁・開催自治体・日本遺産連盟。観光庁が共催となる。過去の日本遺産フェスティバルの開催状況については資料を参照いただきたい。
- ・日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子のプログラム案について説明する。

###### (プログラム案説明)

- ・会期は令和5年11月4日(土)・5日(日)とし、3日(金・祝)は前夜祭を開催する。
- ・プレイベントや同日開催の各イベント主催者と連携して中心市街地等を盛り上げるとともに、日本遺産フェスティバルを中心とした魅力発信を行うことで、日本遺産のさらなる普及啓発を図る。
- ・前夜祭(宵宮)については、11月3日(金・祝)の夕刻から夜にかけて、構成文化財である八王子車人形や八王子芸妓の演舞を桑都テラスで行う。
- ・11月4日(土)、J:COMホール八王子にてオープニングセレモニーとシンポジウムを開催する。
- ・オープニングアトラクションに続いて、文化庁、八王子市長による主催者等の挨拶のあと、日本遺産・文化観光の専門家である多摩美術大学 理事長で元文化庁長官の青柳正規氏による基調講演を行う。休憩をはさみ、観光プランナーの丁野朗氏をコーディネーターとし、本協議会の委員でもある高尾山薬王院佐藤貫首、西川古柳氏、八王子芸妓のめぐみさんをパネラーとしてパネルディスカッションを行う。
- ・メイン会場となる東京たま未来メッセにおいては、日本遺産PR展示や体験・ワークショップブース、日本遺産公開講座、日本遺産ミニシンポジウムを実施する。
- ・八王子市事例発表・展示会の場を設け、八王子の小中学校における取組(郷土学習、学校給食等)の発表や、「子ども☆ミライ会議」を同時開催し、また、高校生・大学生の取組発表を企画している。
- ・アイロードや保健所跡地を利用し、フードコートを設けながら、山車や囃子の展示、伝統文化芸能に触れる企画とし、「お練り」のあと、「柴燈護摩」を行う。  
「お練り」については、関係機関と調整中である。参加団体の皆様にはご協力をお願いする。

- ・エクスカーションツアーや、若年層をターゲットに、日本遺産応援ライブを実施する。
- ・本協議会も参加している日本遺産連盟における総会／情報交換会(懇親会)については、京王プラザホテル八王子で実施する。
- ・同時開催のイベントとして、本協議会の参加団体等主催者の協力の上、「伝承のたまたまぼこ」、ネクタイデザインコンペ、「駅からハイキング」等を実施する。  
(プログラム案説明以上)
- ・八王子まつりが終わったところから、プロモーションを強化していく。ポスターやパンフレット等の配布等、周知啓発について、協議会の皆様にご協力をお願いしたい。  
(事務局説明以上)

## 質疑

### 【委員】

- ・以前も行った質問になるが、フェスティバルの来場者数はどの程度となるか。

### 【事務局】

- ・2日間で来賓を含め約2万人を想定している。

### 【委員】

- ・フェスティバルの来訪者がまちへ訪れた際の受入体制はどうなっているか。

### 【事務局】

- ・11月5日にエクスカーション(市内の3~4ルートをバスで巡るもの)を予定しているほかアイロードは交通規制の上、催しを実施し盛り上げを図りたい。

### 【委員】

- ・何名宿泊されるかわからないが、2万人もの来場を想定しているのであれば、受入体制について考えなければ色々あると思う。
- ・イベント開催はあまり心配していないが、街中の交通や、飲食に関する問題への対応がきちんとならないと、上手くいかない可能性がある。

### 【会長】

- ・宿泊施設については、どのように考えているのか。

### 【事務局】

- ・宿泊施設については、100弱の参加団体(各3~5名で構成)が来訪し、市内の宿泊施設に滞在することを想定している。

### 【会長】

- ・宿泊施設の不足の見込みはないということでよいか。

### 【事務局】

- ・はい。

### 【委員】

- ・そのように宿泊された方々が街中に出てきたときの交通問題などの受入体制について、き

ちんと精査すべきということ。

【事務局】

- ・承知した。

【委員】

- ・日本遺産 PR 特使の富永裕輔氏が日本遺産の歌を作って CD を出している。フェスティバルの事前の PR の意味でもうまく活用した方が良いと思うが、何か活用についての考えはあるか。

【事務局】

- ・せっかくの機会なので、出演も含め、様々な面で活用できるよう検討していきたいと思っている。

【委員】

- ・テーマソングがあるならぜひ共有したいし、歌えるようになりたい。

(各団体主催イベントの補足説明)

【委員】

- ・東京たま未来メッセ 3 階で開催するネクタイデザインコンペ表彰式について、1 階の展示ブースへの来場者にも是非来てもらえるように工夫したい。

【委員】

- ・「駅からハイキング」については、高尾駅から八王子駅にかけてウォーキングを実施するもの。

【会長】「もみじまつり」における取組についてはいかがか。

【委員】

- ・「もみじまつり」についても、例年とは違う内容を考えたい。

【委員】

- ・「もみじまつり」では、出し物の一つとして高尾山の麓で住職として辻説法を行う。高尾山の歴史や日本遺産との関わりについて語り、啓発したい。
- ・柴燈護摩は、スケールの大きなキャンプファイヤーをイメージしていただければと思う。1,300 年前に日本の国土安穩を祈ったのがはじまりとされており、テーマとしてもふさわしい。

【委員】

- ・「伝承のたまてばこ」について、今年はさらに日本遺産の色合いを強めたものを計画している。盛り上げていきたい。

報告事項 (1) 日本遺産ロゴマーク使用申請及び後援名義使用申請の状況について

【会長】

- ・報告事項（1）について事務局から説明願う。

【事務局】

- ・日本遺産ロゴマークは使用規定に基づき、ストーリーの普及啓発、広報、理解促進を目的としており、本協議会に申請の上、誰もが広く使用できるものとなっている。
- ・令和4年度は商用利用が4件、その他の使用は14件、合計18件の申請があり、全て承認した。
- ・その他の使用実績として、協議会構成団体が6件、八王子市は14件、合計20件。  
(質疑なし)

報告事項（2）次期協議会委員の選出について

【会長】

- ・報告事項（2）について事務局から説明願う。

【事務局】

- ・本協議会は設立以来、間もなく3年を迎え、7月には協議会の規約の規定による委員の任期期間3年が満了となる。
- ・委員の継続も含め、配付の協議会委員の就任の承諾書を7月20日（木）までに事務局まで提出いただくようお願いする。  
(質疑なし)

報告事項（3）子どもを笑顔にするプロジェクトについて

【会長】

- ・報告事項（3）について事務局から説明願う。

【事務局】

- ・本年1月の総会にて進行状況を報告した本事業について、令和4年度の事業実績を報告する。
- ・「子供を笑顔にするプロジェクト」は東京都の事業であり、コロナ禍にあって学校生活に様々な制約を受けている子供たちに様々な体験活動の場を提供し、笑顔を取り戻してもらうことを目的とする。
- ・東京都が用意するプログラムを各学校が選択する仕組みだが、各自治体や学校が独自にプロジェクトを実施することも可能な制度となっている。
- ・八王子市では、プロジェクトを活用し、市内小・中・義務教育学校全校で実施。
- ・日本遺産をテーマとして構成文化財の魅力を伝え、市の歴史文化・伝統芸能への理解を深めてもらうため、独自のプログラムを75校で実施（全107校中。ほか32校は学校独自のプログラムを実施）。
- ・高尾山薬王院に協力いただいたプログラムでは、僧侶が学校を訪問、又は学校が高尾山薬王院を訪問し、子どもたちが高尾山の歴史を学んだ。また、精進料理を食べながら食のあ



りがたみについても話していただいた。

- ・本プログラムを実施したある学校では、本年4月の遠足で、小学4年生の児童が高尾山や高尾山薬王院について調べ学習を行った。その学習発表の場には事務局職員も出席し、御礼と講評を行った。1回のイベントで終わらず、学びが今も継続していることを大変嬉しく思う。
  - ・事業実施にあたりご協力いただいた佐藤委員、部会の山本委員に感謝申し上げます。
  - ・八王子車人形の西川古柳座が学校を訪問し、演目披露と操演指導を実施したほか、八王子芸妓、八王子城跡をPRしている市民活動団体にも協力していただき、様々な体験活動の場を提供することができた。
  - ・八王子芸妓が小学校を訪問した際は、「私も将来、芸妓になります」と立候補する子どももあり、八王子の伝統芸能に触れることで仕事を考えるきっかけにもなったようだ。
  - ・子どもを笑顔にするという目的は達成されたと考えている。
  - ・今後も日本遺産の魅力発信を図っていきたい。
- (質疑なし)

#### その他(1) 八王子駅南口集いの拠点整備について

##### 【会長】

- ・その他(1)について事務局から説明願う。

##### 【事務局】

- ・八王子医療刑務所跡地に整備予定の八王子駅南口集いの拠点整備事業の進捗状況について報告する。
  - ・令和4年度には、この施設をどのようにするかという要求水準書を作成し、事業者を公募した。PFI事業として2つの事業グループから申し出があった。うち一者と令和5年3月、集いの拠点整備、運営、維持及び管理に関する18年間に渡るPFI契約を締結した。
  - ・約12メートルの高低差を活かし、なだらかな丘にいくつかの山、それらを結ぶ遊歩道を整備し、メイン棟には、郷土資料館の後継となる歴史郷土ミュージアムと憩いライブラリを整備する予定。
  - ・活動展示室では、日本財団から譲り受けた組立舞台を設置し、伝統芸能や市民活動の発表の場とする。
  - ・憩いライブラリでは、本を外に持ち出して読むこともできる。
  - ・広場全体が、学校とも会社とも自宅とも異なるサードプレイスとして、居心地の良い空間となるよう整備を進めていく。
  - ・令和8年10月のオープンを目指しており、今年度は既存設備の解体工事を進めている。
  - ・歴史郷土ミュージアム内に日本遺産の展示コーナーも設置し、情報発信拠点とする予定。
  - ・今後も逐次報告させていただく。
- (質疑なし)

## その他

### 【事務局】

- ・ポロシャツの配付について事務連絡

### 【委員】

- ・日頃から日本遺産の推進に対する各委員の協力にあらためて感謝申し上げます。
- ・日本遺産は地域及び地域経済の活性化が目的。先人たちが築き上げた八王子の文化伝統を未来へ引き継いでいく。
- ・様々なイベントの一つとして日本遺産フェスティバルがある。皆様の協力のもと成功に導きたい。
- ・過去に開催された3回のフェスティバルに足を運んだ印象としては、基本的には開催地の市民に楽しんでいただくのが大きな目的。近郊の方にも電車で来てもらいたいが、遠方の一般客が宿泊の上、多く訪れることは見込んでいない。宿泊するのは参加団体の関係者が中心になるとみている。
- ・東京たま未来メッセは開設後、間もなく1年を迎える。これまでのイベントの開催実績からみても、1日1万人程度の来場を目安としている。
- ・2日間で2万人の来場者に加え、「伝承のたまてばこ」等の周辺のイベントへの来場者も含め、3万人を超える来場者を想定している。
- ・現状として国全体での日本遺産の周知が十分でない。104団体が集まるフェスティバルを、それぞれが力を合わせて日本遺産の底上げをする契機としていきたい。
- ・私から協議会の皆様に2つお願いがある。
- ・1点目として、初日にJ:COMホール八王子で開催するオープニングセレモニーは、しっかりとした内容の式典としていきたい。委員の皆様にはあらためて案内させていただくので、部会の皆様や所属団体の皆様も含めて足を運んでいただきたい。
- ・事務局には学生、事業者から日々提案をいただいている。特に学生には、メイン会場をクイズラリー、スタンプラリー等で盛り上げてもらいたいと考えている。
- ・2点目として、協議会の皆様に協賛品を寄せていただけたら参加者も盛り上がると思う。協力いただける際は事務局にお話しいただきたい。

### 【事務局】（配付物の説明）

- ・配付の「八王子市文化財保存活用地域計画」は昨年7月に策定。
- ・東京都内で唯一、八王子市が認定を受けた法定計画となる。
- ・これまでの文化財を「保存」という考えから、「活用」の考えへ。
- ・歴史文化基本構想を受け継ぎ、具体的な実施計画としてまとめたものであり、本年3月に作成された市の基本構想・基本計画の文言も盛り込んだものとなっている。
- ・エコバックは八王子の構成文化財等をあしらったデザイン。八王子らしさがある。

- ・多摩織工芸館のリーフレット。毎月、手織り体験を実施している。

#### 質疑

##### 【委員】

- ・ポロシャツをどのように活用すればいいか。

##### 【事務局】

- ・ポロシャツは、関係機関でフェスティバルの機運を高めようという目的で作成したもの。場面に応じて着用いただきたい。
- ・フェスティバルを機に作ったが、「フェスティバル」の文言は入れていないので、来年以降も使っていただける。

##### 【委員】

- ・どこかで販売しているのか。

##### 【事務局】

- ・市民に販売したいのはやまやまだが、市の仕組上、多数の在庫を抱えながら販売するという点の実現困難。協力してくれる事業者があれば、委託販売は可能。

##### 【会長】

- ・日本遺産フェスティバルの成功に向けて、各委員のご協力を賜りたい。引き続きよろしく願います。
- ・これにて、令和5年度第1回日本遺産「桑都物語」推進協議会総会を閉会する。

#### 閉会